東邦車輛 株式会社 殷

独立行政法人自動車技術総合機構 関東検査部足立事務所長

改造概要等説明書(改造自動車等審査結果通知書)

[指示事項]

本改造は、車台番号 TE36H2C3-88278の一台限りとする。

審査の際は本紙、改造部分詳細図及び外観図を提示すること。

けん引自動車は、日野BDG-SH1EDXG(第5輪荷重11.5t)で検討した。

									=	E要	諸元	밢	較	表					標準	単車標	の類別な	を記	怠する	. (2512)
項	E	7	標	準	車	改	造	車		推 .						B	標	準		改	造			・限度
車	名			東邦			—					乘	車	定	員	人				 		<u>-</u> -		10.2
型	式	T	TI	36H20	:3	TE3	6H2C	3改				圾	大	資業	甘配	kg		29, 30	00	†	28,700		<u> </u>	
自動』	車の 種別	11]		普通			←					Г			前前	軸重				T	10, 745		- (17, 520kg)
用	途			貨物			←					車		両	後前	軸重				T	8, 415		≤10t (10, 900kg)
			セミ	トレ	ーラ		←					総	重	교	後中	軸重	Г				8, 415		≤10t (10, 900kg)
燃料	の極頻	1		_			_					1			後後	後後軸重					8, 415		≤10t (10, 900kg)
原動技	幾の型ェ	٢.		_										kg		#					35,990		≤36t	(37,470kg)
	又は定格出力(kr)										最	大多	定定	- ;	右		52			※ 53		一般	≧35°
長	a s		12.	14(11.	60)		←		۷II	13m		倾角	4角	变"		토		52			※ 53		その	他≧30°
	幅 m	_		2.49			←		¥	2. 5n	1				सोर्गः	前 軸							, .	
高	ė m	_		1.86			2.46		≦	3. 8n	1				HI)	311 1442							(-	- kg)
軸	距 m	ľ		+1.30+; =9.51	1. 30		-					,	,		前:	货 軸		5/60R 143/14			←		(10	, 000kg)
	後前輪			1.85			←					タサ	イイ	ヤズ				- /		T				
輪距 m		_		1.85			←					ľ	•		後]	前 軸		5/60R 143/14			←		(10	000kg)
	後後輪	4		1.85			<u> </u>										Ľ	130/13	.03					
荷台の	長さ	m		12.00			←					ĺ			38 :	货軸		5/60R			←		(10	. 000kg)
内側の寸 法	1,00	m		2.47			2. 48											43/14	lOJ		·		(10,	, oookg)
	高さ	m											輪荷		_	車							> 200	<u>v</u>
東面	前前軸重			_			, 620					習	合	%	ŧ	(車					_		≧20%	
車両重量	重 量 後前軸重					1, 890				リヤ・オーハ* ーハン		ハンカ	ヽンク゛ m		2, 09			←		≦1/	2L			
	後中軸重					1, 890							,				2.03		,			4.7	5 m	
kg		Ē				1	, 890								セット			2.61			←			
	計					7	, 290					最	小匠	転	半名	E m					※ 10.0		≦ 13	2m

車両総重量・軸重等の基準



能力強度等給計畫

	כואבני ני לעונו	C 41.00 1 1 1	
(6) (6)	THE ROOM AT THE PARTY.	THE REAL PROPERTY AND THE PARTY AND THE PART	
制数能效			
		KALLE MENTER SERVICE S	11 H H H H H H H H H H
		級衝裝置強皮 σB/σ	1814 / 709 = 2.55 ≥1.6
	1411141141141	σY/σ	1274 / 709 = 1.79 ≥1.3
車 枠 強 度 σ B/σ 570 /		建筑线横线线线	11411411411411411
σ Y/σ 460 /	216 = 2.12 ≥1.3	海州海海海海 海	344 H H H H

- 注1. 能力強度等検討標は、該当しないものは―、省略したものは×を配入すること。
- 注2. 指示事項欄又は能力強度等検討器欄は、必要に応じて指示欄又は項目を追加・削除することができる。
- 注3. 現車春査の際は、通知春及び改造部分詳細図等の添付資料を提示すること。(9. (1) 関係)
- 注4. ※印は、いすゞ BDG-SH1EDXG型トラクタとの返結時の計算値を示す。
- 注5. 長さ桐の() 内の数値は連結装置中心(キングピン位置)から草両後端までの長さを示す。

(日本産業規格 A列4番)

改 造 等 の 概 要

目的	貨物の安全輸送をはかるため。
車枠及び車体	メインレール後部の断面変化傾斜部の前端位置を0.15m前方へ移動し、 キングピンから5.410mの位置へ変更する。 メインレール後部緩衝装置上部の縦板下部を除去し、高さを0.370mから0.340mに 変更する。
原動機	
量数整盘收慮	
走行装置	
操縦条遷	
制數裝置	
緩衝装置	ばねサイズ1160×90×25-2から1150×90×16-6に変更する。
連結接體	
紫辉装置	
電気装度	
注1 変更のない事項につ	いては、斜線を記入又は網掛けを施すこと。

- 注2 届出者は、自動車の点検及び整備に関する情報の提供並びにリコール届出に関する責務があります。 なお、リコール届出に関しては、その実施について道路運送車両法(昭和26年6月1日法律185号)に 基づく勧告、命令を受ける場合があります。(法57条の2、第63条の2、第63条の3 関係)
- 注3 自助車検査証の記載事項について変更が生じる掛合は、当該事項の変更について道路運送車両法に基づく自動車検査証の記載事項の変更が必要となります。(第67条期係)

TH0184

(日本産業規格 A列4番) (日本産業規格 A列4番)

Y45203